

西丹沢方面の自然公園情報

日付：令和6年12月11日（水）

コース：モロクボ沢ノ頭-畦ヶ丸避難小屋-大滝橋

天気：晴れ

気温：8℃（12時頃、畦ヶ丸避難小屋）

●畦ヶ丸避難小屋までの登山道は白さが目立ちます。この辺りを形成する石英閃緑岩が風化、堆積して出来上がったマサ土が正体ようです。黒っぽい石英閃緑岩がこんなに白い土壌を残すことは不思議に思えます。



雪のように見えるマサ土

●マサ土層は崩れやすいため、尾根筋には崩れて細くなった所がいくつかありました。歩行には十分な注意が必要です。



細くなったマサ土の尾根



マサ土の谷

●令和2年10月に利用開始された新畦ヶ丸避難小屋も5年目に入りました。きれいに使用していただけていて、まだ新築のにおいが残っているような気もしました。屋根を眺めると、避雷装置のループ線に気づきます。避雷針がないのは、この棟上導体方式を採用しているためだそうです。



屋根の縁をめぐるループ線

●樋から貯水槽へ雨水を誘導し利用するための装置を一軒家避難小屋のものと比べてみました。一軒家避難小屋も長い間登山者に利用されてきた施設です。



畦ヶ丸避難小屋



一軒家避難小屋

●天気がよい日だったので、青い空に富士山も大滝も美しく映えていました。



大滝